

豊岡市記者配布資料

年 月 日	部 課 名	電 話	責 任 者 (役 職 名)
2023 年 12 月 18 日 (月)	デジタルトランスフォー メーション推進部 D X ・ 行 財 政 改 革 推 進 課	0796-21-9146 (内 線 2041)	若 森 洋 崇 (課 長)

(件 名)

日本郵便によるドローン配送の試行（実証実験）について

(内 容)

日本郵便株式会社がドローン配送による配送高度化の取組みの実証実験として、出石郵便局～豊岡市但東町奥矢根区区間において、ドローンによる荷物などの配送を試行されましたので、お知らせいたします。

記

- 1 実 施 日 12 月 18 日 (月)

- 2 対 象 区 間 出石郵便局（豊岡市出石町町分 117）配達区内
 ※詳細は別紙のとおり

- 3 主 催 日本郵便 株式会社

- 4 実 施 協 力 株式会社 A C S L 、 兵 庫 県 、 豊 岡 市

- 5 そ の 他 ・ 試行内容は別紙をご確認ください。
 ・ 本試行に関するお問合せは、日本郵便株式会社広報部
 報道担当（電話：03-3477-0546）へお願いします。

《 問 合 せ 》 デジタルトランスフォーメーション推進部
D X ・ 行 財 政 改 革 推 進 課 （ 担 当 ： 伊 崎 ・ 坪 内 ）
T e l ： 0796-21-9146 （ 直 通 ）

報道関係者各位

2023 年 12 月 18 日
日本郵便株式会社

ドローンによる配送の実施

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也／以下「日本郵便」）は、ドローンによる、荷物などの配送を試行しましたのでお知らせします。

本試行は、郵便局から配送先地区にお住まいの受取人さま宅の近隣施設まで、補助者なし目視外飛行（レベル 3.5）により実施したものです。

これまでの無人地帯における補助者なし目視外飛行（レベル 3）では、飛行経路上に立入管理措置などを講じる必要があり、ドローンが道路や線路を横断飛行する際、目視のための補助員を配置することや一時停止義務などが課されていましたが、このたび、デジタル技術の活用（機上のカメラによる歩行者等の有無の確認）により、補助者や看板の配置といった現在の立入管理措置を撤廃するとともに、無人航空機の操縦ライセンスの保有および保険への加入により道路や鉄道等の横断を伴う飛行を容易とする「レベル 3.5 飛行」が新たに設けられることで、ドローン配送の実用化がより進むものと考えています。

日本郵便では、この新しい制度を活用し、主に中山間地域においてドローン配送による配送高度化の取り組みを進めてまいります。

■概要

- ・運 行 日：2023 年 12 月 18 日（月）
- ・運 行 区 間：出石郵便局（兵庫県豊岡市出石町町分 117）配達区内
詳細は別紙のとおり
- ・主 催：日本郵便
- ・実 施 協 力：下表のとおり

協力団体名	概 要
株式会社 A C S L	ドローン「ACSL-PF2」の提供および運航の支援
兵庫県・豊岡市	地域、関係団体などとの調整支援

以 上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

日本郵便株式会社
広報部 報道担当
電話：03-3477-0546

【お客さまのお問い合わせ先】

お客様サービス相談センター
<電話番号>
0120-23-28-86（フリーダイヤル）
携帯電話からご利用のお客さま
0570-046-666
（通話料はお客さま負担です。）
<ご案内時間>
全日：8:00～21:00
※おかけ間違いのないようご注意ください。

ドローンによる配送試行

二次利用禁止

1. 目的

- 兵庫県豊岡市の協力の下、新たな制度（レベル3.5飛行）におけるドローン単体での実用化に向け、実用化候補地での配送試行を実施

2. 実施内容

実証場所：兵庫県豊岡市但東町奥矢根地区（出石郵便局配達区内）

実施日：2023年12月18日（月）

使用機体

ACSL社 PF-2



※BOXタイプに加え、複数ヶ所分の郵便物などをマウントできる機構を使用

【配送経路】

※国土地理院地図を日本郵便で加工して作成



【配送手順】

①郵便局敷地内で
配送物をドローンに搭載

②郵便局敷地内の遠隔監視・
操作拠点から離陸を指示

③あらかじめ設定した経路に沿って
配送先エリアに向け自動飛行

④配達

3. 実証機体詳細

● ACSL社（日本）製のドローン「PF-2 Delivery」を使用

動力	： 電動（バッテリー）
航続可能距離	： 10km
最高速度	： 10m/s（36km/h）
最大離陸重量	： 9.8kg
最大積載量	： 1.7kg（80サイズ程度）
運行方式	： 自動航行
耐候性能	： 風速10m/s、降水10mm/h

- ・地上局PC画面で常時遠隔監視
- ・緊急時などには遠隔から操作介入可能
- ・非常用パラシュートを搭載

【外寸】※プロペラ含む

長さ：1,173mm

幅：1,067mm

高さ：654mm



（荷物用ケース搭載時）



（配送物搭載の様子）

4. レベル3.5飛行の概要

・レベル3.5飛行では従来のレベル3で必要とされる立入管理措置(補助者・看板の配置)がデジタル技術の活用により撤廃となり、道路や鉄道等の上空を横断が条件付きで可能となった。

・条件は以下の3つ

- ①二等無人航空機操縦士以上(目視内飛行の限定変更を受けたもの)の国家資格の保有
- ②保険への加入
- ③機上カメラによる歩行者等の有無の確認

	レベル3	レベル3.5(新設)	レベル4
飛行可能ケース	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	有人地帯における無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能
線路や道路等の横断	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が必要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要